

# 神田の三滝

私の住む神田地区には、「田代のヒメシヤラ」と「神田の三滝」の二か所の町指定の有形文化財があります。今回は「神田の三滝」の最近の様子をご紹介します。

この三滝があるのは設楽町神田字保六。中河内の神明社横の林道を左に入り三百メートルほど進むと終点になり、そこが三滝の入り口になります。林道の入り口には案内看板も立てられています。ここからは大きな石がゴロゴロした沢を歩くか獣道のような山道を歩きます。最初に申し上げておきますが、ここは整備された歩道があるわけでもなく、歩くのに危険なところもあります。岩や石も滑りやすく、鎖場も二か所あります。また最近はやマビルが多く見られます。

此処に入るのにはそれなりの装備が必要になり、登山でいうならば中級者以上の方でないと最奥の三の滝には行くことは出来ません。

林道の終点から百メートルほど登っていくと一の滝が見えて



一の滝

きます。途中左の谷に滑り落ちそうな危険な場所もあります。

一の滝は一番落差の大きい滝で九・五メートル。別名「不動滝」とも言われます。滝の両側の岩にはたくさんさんの「イワタバコ」が見られます。

一の滝から二の滝までは沢と山道を二百メートルほど登ります。途中倒木を跨いだり、滑りやすい岩を登る鎖場もあります。この鎖場を登りきると二の滝に

二の滝



出ます。二の滝は落差の一番小さい滝で七・九メートル。二の滝から最奥の三の滝までは五十メートルほどですが、最初に滝つぼから滝の頭まで一気に登ります。急峻のためここも鎖場になっています。鎖場を過ぎて少し平坦な沢を進むと三の滝に到着します。昔、ここには牛がいたという伝説があつて「丑滝」と言われます。

三の滝入口



この滝をつくっている岩石は

岩古谷山と同じ設楽火山岩類の石英安山岩で大変硬い岩です。

それでも長い年月の間に滝の後退があつて、幅は数メートルですが、奥行きは十メートルほどの深い谷をつくっています。滝

の落差は九メートルほどでそんなに大きな滝ではありませんがとても神秘的な滝です。



三の滝

「神田の三滝」の最深の「丑滝」まで見に行くのは大変かと思われませんが、「来てよかった」ときつと思つていただけるかと思えます。是非一度見に来ていただけたら幸いです。

(設楽町文化財保護審議会委員

宮本 典幸)

